

令和2年度シラバス(家庭)

学番 2 1 新潟県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	家庭(家庭基礎)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社「高等学校 新版 家庭基礎 とともに生きる・持続可能未来をつくる」				
副教材等	家庭基礎学習ノート(第一学習社)				

1 学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

衣食住に関する知識や技能の習得だけでなく、これからの生活について展望し、今の自分の生活の問題や課題を見つけられるようにする。

3 指導計画

月	単元	章	学習内容	時間	評価方法				
					関	思	技	知	
4	人の一生と家族	オリエンテーション	・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題を理解する中で、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たすことに関心をもつ。 ・家族の意義について考え、今ある家族に関する問題を理解し、家族のあり方の変化が人々の意識の変化をもたらしていることを理解する。	2	*				
		1. 人生ってなんだろう?		1	*	*	*		
		2. 青春期の課題とは?		1	*	*	*		
		3. 家族ってなんだろう?		1	*	*	*		
5	保育	1. 赤ちゃんはなぜかわいい?	・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解する。 ・子どもの取り巻く現代の問題に目を向け、その原因や理由、命と真剣に向き合う姿勢を身につける。	1	*	*	*	*	
		2. 子どもはどう育つのだろう?		2	*	*	*		
		3. 親になるとはどういうことか?		1	*	*	*		
		4. 子どもの取り巻く環境の変化		2	*	*	*		
5	高齢者	中間考査	・「高齢者」を、自分の将来像として考えることを通して、高齢者福祉の仕組みやあり方を理解する。 ・高齢社会に求められている福祉のあり方を理解し、心の福祉への関心を深める。	1					
		1. 社会はどう高齢化するのだろう?		1	*	*	*		
		2. 超高齢化社会の課題は?		2	*	*	*		
6	共生社会	1. 共生ってなんだろう?	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ(ホームプロジェクトを夏期休業期間の課題とする。)	4	*	*	*	*	
		消費生活		1. 何をどうやって買う?	2	*	*	*	
				2. 自立した消費者とは?	3	*	*	*	
				3. 家計はどう管理する?	1	*	*	*	
7~11	食生活	4. 暮らしに必要なお金は?	・家計管理や家族の経済計画を考え、実行できるようにする。	2	*	*	*	*	
		期末考査		1					
		1. 食生活を見つめてみよう		・栄養素の働き、食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすなどの栄養学について理解する。 ・現代の食生活の問題点を知り、その問題について解決する方法や知識を身につける。	6	*	*	*	*
		2. 食品の選択と取り扱い			3	*	*	*	
3. 献立づくりと調理	13	*	*		*				
12~1	衣生活	期末考査	・自分の衣生活を見つめ直し、衣服選択、衣服管理において適切な判断ができるようにする。 ・家庭での衣生活で活用できる知識を身につける。	1					
		1. なぜ服を着るの?		2	*	*	*		
		2. 衣服の成り立ちや性質を考えよう		2	*	*	*		
2	住生活	3. 衣服はどのように管理する?	・住居に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・自分の住生活を見直し、何が必要で何ができるかを考え、豊かな暮らしを実現させる力をつける。	3	*	*	*	*	
		1. だれが暮らすのだろう?		2	*	*	*		
		2. どのように暮らす?		3	*	*	*		
3	環境	3. これからの住生活とは?	・自分の消費行動と環境とのかかわりを意図的に考える。 ・限られた資源を有効に使い、自分たちの生活を多面的な角度で見つめ、考え、行動できるようにする。	2	*	*	*	*	
		1. 生活を見つめてみよう		2	*	*	*		
		2. 環境のためにできることって?		2	*	*	*		
合計		一年のまとめ		2	*				
		学年末考査		1					
合計				76	(1単位時間は47分間)				

4 課題・提出物など

毎時間ごとにワークノート・授業プリントを提出してもらいます。

5 評価規準と評価方法

以下の観点を踏まえ、実習の様子や課題提出などの状況から総合的に判断し、100点法および5段階評定で評価します。

関心・意欲・態度(30%)	思考・判断・表現(20%)	技能(25%)	知識・理解(25%)
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
ワークシート、学習活動記録、学習活動の自己評価など	ワークシート、学習活動記録、学習活動の自己評価など	実習や制作を通し、作品や成果物で技術の評価など	定期考査等の筆記試験、学習プリント、授業中の質問など

6 担当者からの一言

家庭科の授業を通して、よりよい生活を実現するために必要な知識や技術を習得できるよう、がんばって取り組みましょう。